

百十四グループ（連結ベース）の概要

グループの構成と主要な事業の内容（平成26年3月31日現在）

百十四グループは、当行及び子会社の計14社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務などの金融サービスの提供により、お客さまの信頼とニーズにお応えしております。

百十四グループ	●銀行業務		
	会社名		店舗・店舗外ATMコーナー数
	株式会社百十四銀行		店舗 123カ店（本店ほか支店101カ店、出張所21カ店） 店舗外ATMコーナー 177カ所
	連結子会社		
	会社名		主たる営業所または事業所の所在地 主要業務内容
	百十四財田代理店株式会社		香川県三豊市財田町財田上2223番地2 銀行業務の代理店業
			設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）
			平成元年10月2日 10百万円（100.0%・-）
	●リース業務		
	連結子会社		
	会社名		主たる営業所または事業所の所在地 主要業務内容
	百十四リース株式会社		香川県高松市亀井町5番地1 総合リース業、バンチャーキャピタル業務
			設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）
			昭和49年4月23日 500百万円（27.8%・26.1%）
●その他業務			
連結子会社			
会社名		主たる営業所または事業所の所在地 主要業務内容	
日本橋不動産株式会社		香川県高松市亀井町5番地1 不動産の賃貸・管理・福利厚生	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		昭和34年2月6日 65百万円（100.0%・-）	
百十四ビジネスサービス株式会社		香川県高松市亀井町7番地15 現金等の精算・整理、ATMの保守・管理	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		昭和55年7月1日 10百万円（100.0%・-）	
株式会社百十四人材センター		香川県高松市塩屋町8番地1 労働者派遣事業・委託による受託業務	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		平成元年8月1日 30百万円（100.0%・-）	
Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limited		PO Box 309, Ujeland House, Grand Cayman, KY1-1104, Cayman Islands 投融資業務	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		平成20年1月24日 10,300百万円（100.0%・-）	
百十四総合保証株式会社		香川県高松市塩屋町8番地1 信用保証業務	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		昭和54年4月2日 30百万円（15.0%・26.7%）	
株式会社百十四ディーシーカード		香川県高松市田町11番地5 クレジットカード業務、金銭貸付、信用保証業務	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		昭和57年12月21日 30百万円（15.0%・25.0%）	
株式会社西日本情報サービスセンター		香川県高松市亀井町7番地の15 電子計算機による情報処理受託業務	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		昭和61年2月25日 90百万円（45.0%・40.0%）	
株式会社西日本ジェーシービーカード		香川県高松市塩屋町8番地1 クレジットカード業務、金銭貸付、信用保証業務	
		設立年月日 資本金（当行の議決権所有割合・他の子会社の議決権所有割合）	
		昭和63年2月1日 50百万円（5.0%・40.0%）	

（注）Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limitedは、特定子会社であります。

当行を所属銀行とする銀行代理業者

当行を所属銀行とする銀行代理業者は、下記1社であります。

商号	銀行代理業を営む営業所の名称
百十四財田代理店株式会社	百十四財田代理店株式会社

当連結会計年度の業績

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

当連結会計年度の経済環境につきましては、「営業の概況」（本誌4頁）に記載のとおりですが、このような経済環境のなか、百十四グループは、銀行業務を中心として地域に密着した営業活動の展開を図るとともに、リース業務などの金融サービスの提供につとめた結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

○預金・預り資産……個人、法人及び公共預金がいずれも増加しました結果、当連結会計年度末の預金残高は、前連結会計年度末比3,485億円増加して3兆7,693億円となり、譲渡性預金を含めた総預金では、前連結会計年度末比3,009億円増加して3兆9,534億円となりました。

また、お客様の資金運用ニーズの多様化にお応えするため、預金以外の運用性商品の品揃え充実につとめ、投資信託及び個人年金保険が増加しましたが、公共債の減少により、当連結会計年度末の預り資産残高は、前連結会計年度末比69億円減少して3,713億円となりました。

○貸出金……個人向け、法人向け及び公共向け貸出金がいずれも増加しました結果、当連結会計年度末の貸出金残高は、前連結会計年度末比858億円増加して2兆6,142億円となりました。

○有価証券……債券運用による利息収益の確保に加え、相場変動への機動的な対応によるポートフォリオの収益性向上につとめた結果、当連結会計年度末の有価証券残高は、前連結会計年度末比172億円増加して1兆3,356億円となりました。なお、当連結会計年度末の「その他有価証券」の差引評価益は、前連結会計年度末比6億円減少して585億円となりました。

○損益

（経常収益）

金利低下などに伴い資金運用収益が減少しましたが、国債等債券売却益の増加によるその他業務収益及び株式等売却益の増加や貸倒引当金戻入益の計上によるその他経常収益の増加などにより、当連結会計年度の経常収益は、前連結会計年度比58億90百万円増加して805億80百万円となりました。

（経常費用）

国債等債券売却損の増加によりその他業務費用が増加しましたが、不良債権処理費用及び株式等償却の減少によるその他経常費用の減少などにより、当連結会計年度の経常費用は、前連結会計年度比51億13百万円減少して587億22百万円となりました。

（経常利益・当期純利益）

以上の結果、経常利益は、前連結会計年度比110億3百万円増加して218億57百万円となりました。また、当期純利益は、前連結会計年度比53億79百万円増加して112億30百万円となりました。

セグメント情報等

【セグメント情報】

1.報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心に、連結子会社においてリース業務をはじめとする金融サービスに係わる事業を行っており、当行及び企業集団を構成する個々の連結子会社がそれぞれ事業計画等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当行グループは、当行及び個々の連結子会社を基礎とした業務別のセグメントから構成されており、「銀行業」及び「リース業」の2つを報告セグメントとしております。なお、「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行い、「リース業」は、連結子会社の百十四リース株式会社において、リース業務等を行っております。

2.報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3.報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	65,599	6,849	72,448	2,241	74,690	—	74,690
セグメント間の内部経常収益	375	784	1,159	4,266	5,426	△ 5,426	—
計	65,975	7,633	73,608	6,507	80,116	△ 5,426	74,690
セグメント利益	8,951	268	9,220	1,724	10,944	△ 89	10,854
セグメント資産	4,117,713	24,954	4,142,668	30,234	4,172,903	△ 38,574	4,134,329
セグメント負債	3,886,766	21,285	3,908,052	11,527	3,919,579	△ 36,672	3,882,906
その他の項目							
減価償却費	2,946	114	3,061	384	3,446	122	3,568
資金運用収益	50,494	105	50,599	553	51,152	△ 606	50,546
資金調達費用	3,732	184	3,917	96	4,014	△ 645	3,368
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,861	6	2,868	362	3,230	65	3,296

（注）1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業を含んでおります。

3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。

4.セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

百十四グループ（連結ベース）の概要

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	72,062	6,616	78,678	1,901	80,580	—	80,580
セグメント間の内部経常収益	616	670	1,286	3,632	4,918	△ 4,918	—
計	72,678	7,286	79,965	5,533	85,499	△ 4,918	80,580
セグメント利益	20,177	326	20,503	1,683	22,187	△ 329	21,857
セグメント資産	4,476,338	26,357	4,502,695	30,633	4,533,328	△ 40,117	4,493,211
セグメント負債	4,240,710	22,482	4,263,193	11,350	4,274,544	△ 38,183	4,236,360
その他の項目							
減価償却費	2,857	97	2,955	345	3,300	71	3,371
資金運用収益	47,545	127	47,672	509	48,182	△ 635	47,546
資金調達費用	3,690	145	3,835	90	3,925	△ 591	3,333
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,051	6	3,058	441	3,500	65	3,565

- (注) 1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
 2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業を含んでおります。
 3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 4.セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

1.サービスごとの情報

（単位：百万円）

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	36,312	17,821	6,849	13,706	74,690

- (注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2.地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

1.サービスごとの情報

（単位：百万円）

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	34,511	21,647	6,616	17,804	80,580

- (注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2.地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
減損損失	55	—	55	—	55

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
減損損失	24	—	24	—	24

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。